

令和8年度

エネルギー研究教育機構
博士課程学生支援プログラム

募 集 要 領



令和8年6月

1. プログラムの目的

エネルギー研究教育機構（以下「本機構」という。）は、エネルギー分野の優れた研究実績を活かし、グローバルに深刻化するエネルギー・環境問題の解決と持続可能な社会の実現を目指すために、平成28年10月1日に設置されました。その後、令和3年11月に指定国立大学法人に指定され、大学の強み・特色を生かして社会的課題の解決に貢献するエントリポイントの一つとして「脱炭素」が設定され、本機構は、自然科学系と人文社会科学系の知の融合による総合知の創出のためのプラットフォームとして、社会変革とイノベーションを促す基盤としての役割を担うとともに、分野横断的な先端研究と人材育成を行っています。

本プログラムは、脱炭素社会の実現に向けて、未来のエネルギー研究を担う博士課程学生の支援・育成・発掘を目的としています。

2. プログラムの詳細

以下5分野に係る博士後期課程における研究提案

分野①：エネルギーテクノロジーに関する研究

分野②：エネルギーシステムとマネジメントに関する研究

分野③：エネルギー由来の環境問題に関する研究

分野④：エネルギー経済・社会・ポリシーに関する研究

分野⑤：その他エネルギー問題に関わる分野

本募集要領に記載している申請分野①～⑤に関連する学術分野例・専門分野キーワード例を参考にするなど、視野を広げ申請を検討してください。

【申請資格】

九州大学の博士後期課程在学者及び博士後期課程への進学を検討する博士前期課程在学者のうち、次のいずれにも該当する者とします。

- (1) 過去に2回以上採択されていないこと
- (2) 令和9年3月31日まで、在学予定の者

【表彰件数】

金賞：1件程度、銀賞：2件程度、銅賞：3件程度、奨励賞：14件程度

【研究教育奨励経費】

採択課題に対して、当該学生の所属研究室へ研究教育奨励経費を配分します。

なお、研究教育奨励経費の用途の制限は設けませんが、所属研究室の管理・監督の下、適切な経費執行に努めてください。

（金賞：50万円、銀賞：40万円、銅賞：30万円、奨励賞：20万円）

※日本学術振興会特別研究員については、日本学術振興会以外からの資金援助に制限があるので、その範囲内の支援としてください。

【支援期間】 令和8年4月1日～令和9年3月31日

3. 選考方法・採択件数・配分日付等

- (1) 選考は、申請書類を審査し、採択候補課題を決定します。
- (2) 採択件数については、予算の都合等により調整する場合があります。
- (3) 採択されることがない申請者と過去に採択されることがある申請者との審査結果が同順位であった場合には、採択されることがない申請者を優先的に採択します。
- (4) 研究教育奨励費は、原則として令和8年4月1日付けで配分します。

4. 申請手続

(1) プレエントリー

エントリー期間内に以下の URL にアクセスし、必要事項を入力し、プレエントリーを完了させてください。

プレエントリーのない申請書類は受理できませんので、ご注意ください。

【エントリー期間】 公募開始～7月17日（金） 23時59分

【エントリーURL】 <https://forms.cloud.microsoft/r/3nmSKyMHYZ>

(2) 申請書類の提出

以下の URL より申請書様式を取得し、必要書類を作成してください。

https://archive.iii.kyushu-u.ac.jp/public/iPZ4wofIdj9GpYSLrvrnz2eStiq_FVWhMcNffWHHpY97

【提出期間】 公募開始～7月24日（金）

【申請書類】（様式1）研究提案の要旨、（様式2）研究提案書

【申請書提出先】 プレエントリー時の受領確認メールに記載しています。

・ 様式1、様式2のファイルはPDFに変換し、ファイル名は「様式〇_所属学府_氏名」とする。

（例：様式1_経済学府_九大 太郎）

申請書類の様式は、ホームページからもダウンロードできます。

(Q-PIT URL) <https://q-pit.kyushu-u.ac.jp/young-researcher-support/>

(3) 問合せ先

IQ 支援室 学術支援・渉外グループ

e-mail : iq-kenkyu@jimu.kyushu-u.ac.jp

5. 採択された場合の条件等

(1) 広報

学内外において研究経過及び研究成果を発表する場合は、本プログラムの支援を受けている旨を明記するなどして積極的に広報活動を行うこととしてください。

Acknowledgment(謝辞)の記載例は、次のとおりです。

【英文】 : This work was supported by Kyushu University Q-PIT Support Program for Doctoral Students.

【和文】 : 本研究は九州大学エネルギー研究教育機構博士課程学生支援プログラムの助成を受けたものです。

(2) 研究発表

本機構で開催するセミナー・シンポジウム・九大エネルギーウィークにおいて、研究成果公開の取組（展示・ポスター発表など）に参加してください。

(3) 競争的資金制度等への申請等

博士課程学生枠で採択され申請資格を有する者は、次年度以降の日本学術振興会特別研究員へ応募してください。

6. 実績報告書等について

採択された者は、年度終了時に支出経費内訳等を所定の（様式3）実績報告書_博士課程学生に記載のうえ、別途指示する期日までに提出してください。

7. その他

本プログラムの支援により実施した研究の成果としての特許等の取扱いについては、九州大学知的財産取扱規則（平成16年度九大規則第93号）によることとします。

詳細については、学術研究・産学官連携本部のWEBページ

(<https://airimaq.kyushu-u.ac.jp/ja/teacher/invention.php>)を参照

< 参考資料 >

分野①：エネルギーテクノロジーに関する研究

- ・関連する学術分野例：科学、工学、数学、化学、材料科学
- ・専門分野キーワード例：水素製造、水素貯蔵、水電解、燃料電池、電池、エネルギー貯蔵材料、エネルギー変換材料、太陽光発電/ソーラー材料

分野②：エネルギーシステムとマネジメントに関する研究

- ・関連する学術分野例：情報工学、システム工学、制御工学、経営工学、プロセスシステム工学、エネルギーシステム工学、化学システム工学、機械工学、電気工学、再生可能エネルギー利用システム、ハイブリッド再生可能エネルギーシステム
- ・専門分野キーワード例：データ解析、モデリング、システムインテグレーション、エネルギー貯蔵システム、地域エネルギーシステム、低炭素社会、技術経済評価

分野③：エネルギー由来の環境問題に関する研究

- ・関連する学術分野例：農学、環境学
- ・専門分野キーワード例：バイオ由来エネルギー生産、温暖化対策

分野④：エネルギー経済・社会・ポリシーに関する研究

- ・関連する学術分野例：エネルギー経済学、資源経済学、環境経済学、社会学、エネルギー政策
- ・専門分野キーワード例：スマートファーム、途上国におけるエネルギー、創・蓄・省エネルギー技術、分散型エネルギー社会

分野⑤：その他エネルギー問題に関わる分野

- ・上記記載以外の学術分野等